ものろおぐ

近藤ようこ

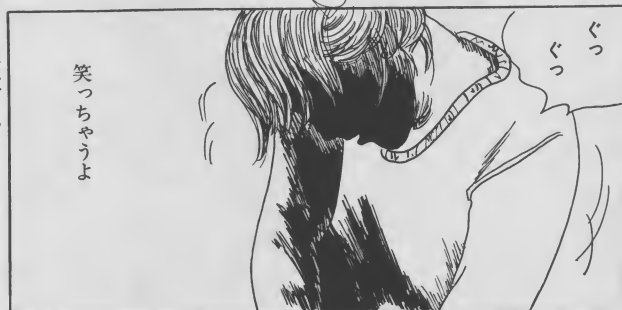
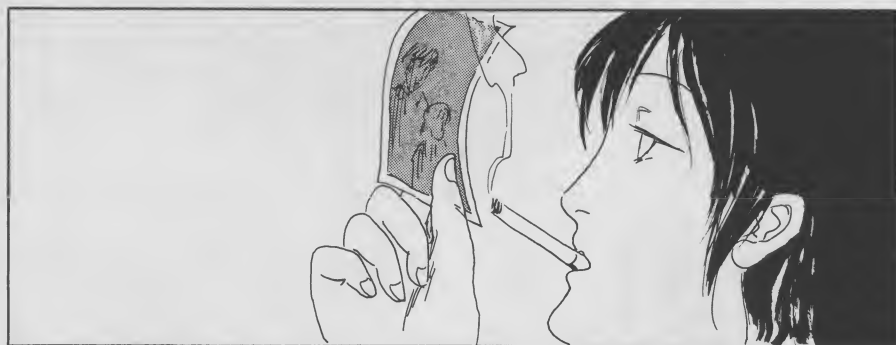
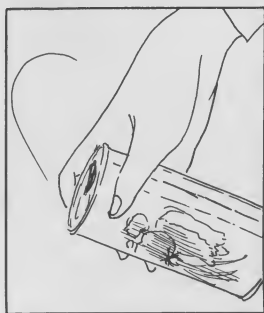
昭和32年、新潟県に生まれる。国学院大学文学部卒。デビュー作「ものろおぐ」('79・5月号)。主著「仮想恋愛」「夏は来ぬ」。

ガロにはなにをどうかいても自由だけど、それに甘えているとナルシシズムがかたまってしまいます。ありがたくてむずかしい雑誌です。

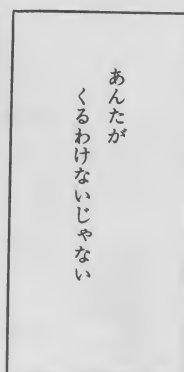
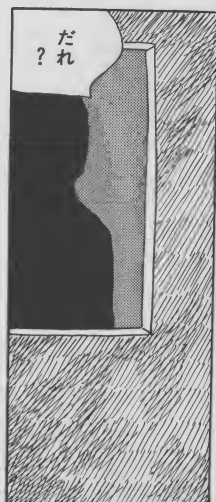
あんた——

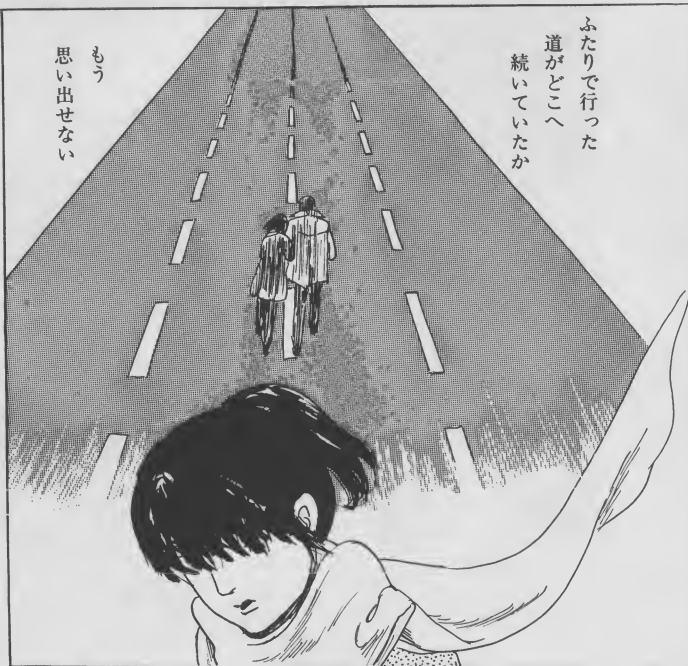
う〜

ふー
人を憎むって
いうのは
思ってたほど
痛快じゃ
ないな
あたしを忘れて
自分だけ幸せにならないで
あたしって
シット深いねえ

いてっ
わ
血出たあ
ねぇ
んー
がさ
ねぇってば
んー
だったのか

あたしだって女だよ

切れば血の出る
女だよ

知らなかったの　あんた
知らなかったなんて言わせない

だれ？
あんたが
くるわけないいじゃない
…ですか
新聞の集金です
へッ
負けるもんか
あんたなんかに
はーい
ごくろうさま
ばさっ

あんたは
やさしかったね
でも
ウソつきだった

あたしは
正直だった
だから
やさしくなかったよ

ふたりで行った
道がどこへ
続いていたか
もう
思い出せない

感傷だなあ!

今度
偶然
出会ったら

なぐってやろうか
イロオトコノマネ
シャガッテ！

それとも──

笑いかけてやろうか
作り笑いが
ひきつらないように

│

生きてる、
なぁ――